

令和3年度バイオマス産業都市選定委員会の概要

1. 開催日 令和3年11月2日（火）

2. 開催場所 中央合同庁舎4号館会議室（12階 1218号室）

3. 出席者

【選定委員】

芋生 憲司	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
酒井 伸一	公益財団法人京都高度技術研究所 副所長
竹ヶ原 啓介	株式会社日本政策投資銀行 設備投資研究所 エグゼクティブフェロー
塚本 修	一般財団法人石炭フロンティア機構 理事長（座長）
野村 充伸	株式会社フソウ 取締役会長
横山 伸也	東京大学名誉教授

【関係府省】

内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

4. 概要

【要旨】

バイオマス産業都市選定委員会を開催し、4つの視点（①先導性、②実現可能性、③地域波及効果、④実施体制）を中心に、応募のあった市町村についてヒアリング及び評価を行った結果、3市町（北海道雄武町、長野県長野市、宮崎県川南町）を選定委員会の推薦案とすることに決定。

【総合評価】

各市町とも、地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸としたまち・むらづくりを目指す構想となっている。実施にあたっては、以下に留意して取り組んでいただきたい。

（1）北海道雄武町

シュタットベルケの創設にあたっては、事業性を十分に検討されたい。

（2）長野県長野市

民間主体だけでなく、自治体を中核とした協議会の総合調整機能に期待したい。

（3）宮崎県川南町

既存事業を含めた構想として推進するとともに、消化液の活用方法については十分に検討いただきたい。